

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標		件	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	学校給食費支援率	%	目標	100.00	100.00	0.00
			実績	100.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	子育て世帯への経済的負担の軽減となっているため必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政でしか実施できない。
	手段の妥当性	A 妥当である	申請によらないため、受益者の負担もなく妥当である。
効率性	コストの効率性・人員効率	A 改善の余地はない	該当世帯の決定に至るまでの確認や周知など効率性が高いとは言えないが、代替えとなる方法がないため改善の余地はない。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	該当世帯として、義務教育課程中に3人以上いなければならないため、3人以上養育していたとしても該当とならない世帯もある。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	該当者の給食費無償化は確実にできている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	該当者の給食費無償化は確実にできている。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
保健福祉部子ども福祉課で実施していた「子育て応援助成金事業」を令和3年度の担当課移転に伴い、現金支給から申請によらない無償化に変更したが、申請によらないものであるため、該当世帯の漏れが懸念事項となる。 なお、該当世帯の要件確認（未納等）については、慎重に行わなければならない。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
事業の目的、趣旨を検証し、効果的かつ効率的な方法を検討していく。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 子育て支援の一環として給食費の一部を無償化することで、引き続き多子世帯の経済的負担の軽減を図る。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり	